World Vision
この子を救う。未来を救う。

コンゴ民主共和国
サンブワ地域開発プログラムのご紹介
（ZAR-221043）

チャイルド・スポンサーシップは、１人の子どもに直接お金やモノを提供するプログラムではありません。支援地域の子どもたちが健やかに成長するための環境を整え、人々が“未来を切り拓く力” を得られるようにする、長期的な支援活動です。チャイルドが住む地域とその課題、現地でワールド・ビジョンが実施している活動についてご紹介します。

地域の課題

机と椅子が不足し、教室の床に座って授業を受ける子どもたち

家計を助けるため、学校に通わず水の運搬の仕事をする少年たち

教育

- １クラスの児童数が65～100人
- 小学校を中退する子どもの割合 **20%***
- 働かざるを得ないため、学校に通えない子どもが多い

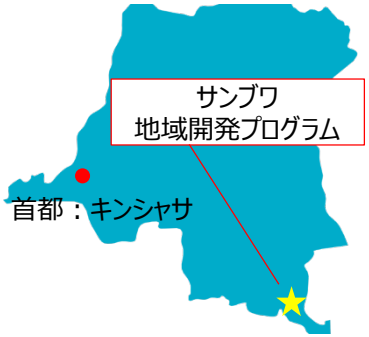
保健・衛生

- 2歳未満児の予防接種率 **35%****
- ５歳以下の栄養不良児の割合 **27.1%***
- 井戸が足りないため、住民の多くが不衛生な川の水を使っている

生計向上

- 農業の生産性が低い
- ビジネスに関する知識が少なく、収入が不安定

*2021年　**2018年



国情報

コンゴ民主共和国

1997年以前の旧国名はザイール。アフリカ大陸の中央に位置し、ウガンダ、タンザニア、ザンビアなど9カ国と国境を接し、西部は大西洋に接する広大な国です。旧ベルギーの植民地であったことから、現在でも公用語はフランス語であり、宗教はキリスト教が80%と主流で、イスラム教、その他伝統宗教と続きます。コバルト、金、ダイヤモンドなど豊富な地下資源を有していますが、長年の内戦や近隣国との紛争で国土は荒廃し、治安の改善が引き続き課題となっています。

地域情報

サンブワ 地域開発プログラム

支援期間： 2022年～2033年
＊支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

国内第2の都市ルブンバシから南東に30kmに位置するオー・カタンガ州カフブ地区にて、サンブワ地域開発プログラムを実施します。支援地域のサンブワ村、マクロ村、キタンダ村には、約3万人の人々が暮らしており（うち60%が17歳以下の子ども）、現地では主にスワヒリ語が話されています。近隣にはカフブ川など3つの川が交差し、雨期には洪水が起こります。人々は農業を主な生計手段としていますが、連作や土壌管理の知識不足により土地がやせているため、人々の経済状況は不安定で、子どもの栄養不良などが問題となっています。

地域の課題

教育

支援地域にある4つの小学校では、1クラスあたりの児童数が政府が定める基準を超えているため、教育の質が低く、卒業時でも読み書きのできない児童が多くいます。子どもの権利に関する知識も少なく、親による体罰も容認される風潮があります。

保健・衛生

貧困や栄養に関する知識不足が原因で、多くの子どもが栄養不良に陥っています。また飲用水を得る井戸が足りておらず、人々は川や湖の不衛生な水を使わざるを得ない状況です。保健施設では基本的な設備が不足していて、地域の医療ニーズに対応できていません。

生計向上

地域住民の大半が農産物を売って生計を立てていますが、自分たちの食べる分を除くと得られる収入はごくわずかです。ビジネスに関する知識も少なく、貯蓄の習慣や借り入れの機会もないため、他に収入源となる活動を起こすこともできない状況です。

WVが行う支援活動

- 学校の建設や学習に必要な設備の提供
- 読み書きの能力を高めるための読書クラブの設置
- 親や教師を対象にした子どもの権利についての啓発

教室の建設したり、机や椅子を提供するなど
子どもたちの学びの環境を整えます

- 学校やコミュニティーに井戸を建設
- 保健サービスへのアクセスの確保
- 衛生習慣に関する研修

給水所で手を洗う男の子

- 農家を対象とした、収穫量を増やすための農業研修
- 農機具の提供
- 貯蓄グループを作り、収入向上を支援
- 気候変動に関する啓発、植林活動

農業研修を通じて収穫量を増やし、
収入の安定化を図ります

支援はチャイルドの生活を変える力となります

４歳のジャーメインちゃんは2人きょうだいで、シングルマザーの母親と一緒に暮らしています。ジャーメインちゃんの母親は子どもたちを育てるため、他の人の家で家政婦として働いたり、５ｋｍ離れた森に行って薪を集めて売ったりしています。土地も道具もないので、作物を作ることはできません。

一番困っていることは、飲み水の確保です。水をくむ場所が家からとても遠い場所にあるため、飲用には適していないと分かっていながらも、川の水を使うこともあります。

「これから私たちの村でワールド・ビジョンの支援が始まり、子どもたちや村のみんなの生活が良くなると聞き、とてもうれしいです」と母親は話します。ワールド・ビジョンは、ジャーメインちゃんのような子どもたちが希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。ホームページトップの**「支援者の皆さまへ」**に進み、**「アカウント作成」**のボタンから、手続きをしていただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、
チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。

公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

FACEBOOK
@worldvisionjapan

Instagram
@worldvisionjapan

Twitter
@WorldVisionJPN

特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン

World Vision
この子を救う。未来を救う。